



2021年8月13日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ  
代表者名 代表取締役 CEO 滝澤 貴志  
(コード番号：4398 東証 JASDAQ)  
問 合 せ 先 経営企画部長 高田 宜史  
(TEL 03-5338-7430)

### 2022年6月期の業績予想について

2022年6月期(2021年7月1日から2022年6月30日)における当社の業績予想は、次のとおりであります。

(単位：百万円、%)

| 項目               | 決算期 | 2022年6月期<br>(予想) |            |            | 2021年6月期<br>(実績) |            |
|------------------|-----|------------------|------------|------------|------------------|------------|
|                  |     |                  | 対売上<br>高比率 | 対前期<br>増減率 |                  | 対売上<br>高比率 |
| 売 上 高            |     | 5,000            | 100.0      | 15.1       | 4,342            | 100.0      |
| 営 業 利 益          |     | 400              | 8.0        | 89.9       | 210              | 4.8        |
| 経 常 利 益          |     | 386              | 7.7        | 95.5       | 197              | 4.5        |
| 当 期 純 利 益        |     | 268              | 5.3        | 120.8      | 121              | 2.8        |
| 1株当たり当期<br>純 利 益 |     | 60円15銭           |            |            | 31円18銭           |            |
| 1株当たり配当金         |     | 10円00銭           |            |            | 10円00銭           |            |

#### 【2022年6月期業績予想の前提条件】

##### (1) 当社全体の見通し

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、緊急事態宣言が度重なり発出され、人流を制限するための政府からのテレワーク要請も出ております。企業活動においてはネットワークやITを活用した「デジタル技術による変革」が加速する一方、世界規模でのサイバー攻撃が引き続き増大しており、その影響は単に企業活動の停滞のみならず、社会インフラの停止といった社会問題として認知されるようになりました。特に、ランサムウェアと呼ばれる、感染したコンピュータへのアクセスを制限することで、その制限解除のための身代金を要求するサイバー犯罪の被害が、日本国内においても拡大しております。このような背景から、コロナ禍における経済環境におきましても、情報セキュリティ市場は引き続き拡大傾向を示しています。このような経営環境下で、当社のサービスに対する需要も継続して増加しております。当社はこれ

までも情報漏えい事故調査を取り扱う「緊急対応サービス」を提供していましたが、本年4月にはクレジットカード情報の漏えい事故調査を取り扱うことができる国内でも数少ない登録機関として認定されました。当社としましてはこの分野を成長市場として捉え、被害者となってしまった企業・団体の緊急対応ニーズに応えるべく人員態勢の強化を図っています。また、金融分野における情報セキュリティの重要性を鑑み、昨年9月には、国際送金ネットワークを外部評価できる機関としての登録も行いました。監査・コンサルティングビジネスの一分野として、既に複数の地方銀行に対してこの外部評価サービスを提供しております。加えて、本年7月にSBIグループのモーニングスター株式会社より事業承継を受けた「ゴメス・コンサルティング事業」の主要顧客が金融機関であることから、地方銀行を中心に総合的な提案を行える顧客基盤を獲得することができました。なお、これまでの「ゴメス・コンサルティング事業」の、金融機関に向けたデジタルトランスフォーメーション（DX）の支援に加え、今後は金融機関以外の業種へのアプローチも強化し、セキュリティも含めたIT管理サービスを、モーニングスターおよびSBIグループと連携して積極的に展開していく予定です。社会的な重要インフラである金融分野において、「デジタル技術による変革」をサイバー犯罪から守ることは当社の責務であると考え、さらなる事業展開を進めてまいります。

以上のことから、当社の2022年6月期の業績は、売上高5,000百万円（前期比15.1%増）、営業利益400百万円（前期比89.9%増）、経常利益386百万円（前期比95.5%増）、当期純利益268百万円（前期比120.8%増）を見込んでおります。

## (2)業績予想の前提条件

### ①売上高

企業向けのサイバー攻撃の増加に伴う需要動向などの外部環境を踏まえて、サービス毎に策定しております。本事業年度から事業承継を受けたゴメス・コンサルティング事業も加え、前期比15.1%増である5,000百万円を計画しております。

### ②売上原価

各サービスに係る外注費や仕入原価、労務費、地代家賃、減価償却費、研修費等により構成されており前期比15.2%増の3,600百万円を計画しております。

### ③販売費及び一般管理費、営業利益

主に営業部門や管理部門の人件費、及びその他の経費で構成されております。当期の販売費及び一般管理費はほぼ前年並みの1,000百万円を計画しております。以上の結果、営業利益は前期比89.9%増の400百万円を計画しております。

### ④営業外収支、経常利益

主にリース契約の利息等として13百万円を計画しております。以上の結果、当期の経常利益は前期比95.5%増の386百万円を計画しております。

### ⑤当期純利益

法人税等および、法人税等調整額として118百万円を見込んでおり、当期純利益は前期比120.8%増の268百万円を計画しております。

## 【業績予想に関するご留意事項】

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。特に新型コロナウイルスの感染拡大により、市場環境が大幅に変動した場合には、予想数値と異なる可能性があります。

以上